

内窓における事故を防止するための施工時のお願い

内窓の普及に伴い、会員会社に内窓障子の脱落・落下が報告されるようになり、中には施工起因と思われるものがあります。事故防止のため、施工の際は以下の事例と注意事項に留意し、施工説明書をご確認の上、確実な施工をお願いします。

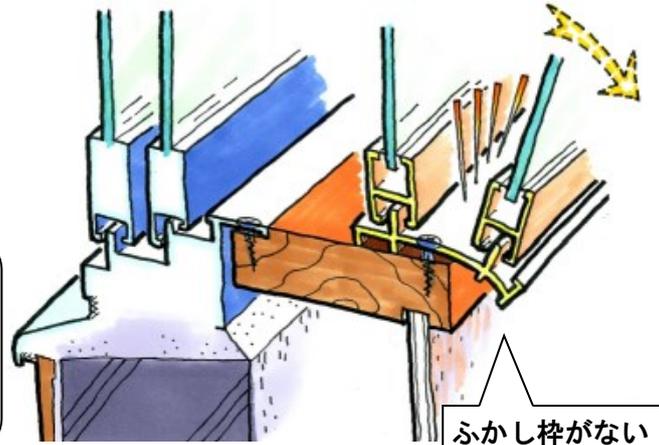
事故の例：RC造のマンションで、開閉時に内障子が落下した

なぜ事故が起こったのか？

内窓下枠の下にふかし枠がなく、窓枠が障子の重さで変形している状態だった。

【施工上の注意】

枠が額縁よりはみ出すなどの場合は、ふかし枠を使用してください。



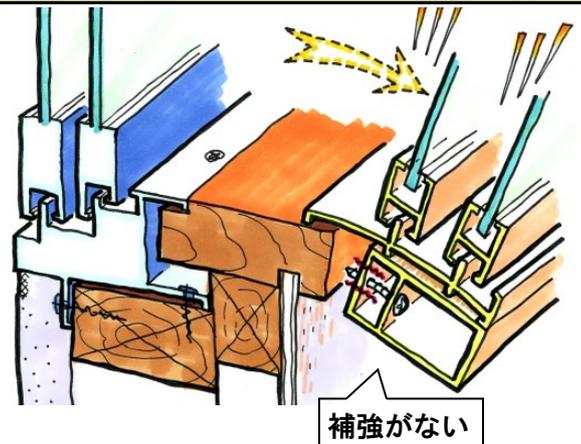
事故の例：木造の戸建て住宅で、突然内窓の障子が落下した

なぜ事故が起こったのか？

ふかし枠には補強がなく、ふかし枠の固定ねじが浮いた状態だった。

【施工上の注意】

必要に応じて補強を行い、ふかし枠を確実に固定してください。



事故の例：木造の戸建て住宅で、開閉時に障子が倒れた

なぜ事故が起こったのか？

内窓上枠と上障子のかかり寸法がほとんどない状態だった。

【施工上の注意】

- 正確に採寸を行い、内窓を手配してください。
- 取付けに支障がある場合、平板などを使い開口を補正してください。
- 必ず建付け調整を行い、所定のかかり寸法を確保してください。

